「広島県建設分野の革新技術活用制度」登録技術の活用事例

技術名称 :ユニットネット工法

登録事業者：株式会社　ダイカ

様式２

①　技術概要・概要図

・ユニットネット工法は森林保全と斜面の補強効果を両立した
エコロジカルな工法です。
・従来、斜面の崩壊対策として一般的に行われてきたのは、コンクリートで斜面を覆う工法でした。
しかしこれらは優れた強度を持つものの、樹木を切る必要があるため、自然環境を破壊し、美観を損ねる大きな欠点がありました。
ユニットネット工法は、こうした問題を解決する画期的な工法です。自然の力を最大限に活かしながら、新開発の“ユニットネット”で強さと安定性をプラスすることで、自然環境を守りながら、災害を未然に防ぐ優れた性能を発揮します。
使用部材が軽量かつ工場製品であることから斜面上での材料運搬や作業性に優れ、工期短縮が可能。

②　設計・施工等の概要

項目	概　要
年　度	令和7年度
発注機関	広島市
事業名	善當寺地区市有地法面対策工事(7-3)
対象地	広島市安佐南区沼田町大字伴
工　期	令和8年2月～4月
数　量	374㎡

③　活用に至った現場条件や経緯

・経済比較の結果、安価な工法であった。
・すべり層が1m以上あり、鉄筋挿入工を採用した。
・神社の近くで景観の配慮した工法であった。

④　活用効果（本事例における効果）

・従来工法(法枠)に比べて、コストが3%縮減した。
・従来工法(法枠)に比べて、工期が20%短縮した。
・セメント使用量の減少により、自然環境・景観の保全が図れた。

⑤　活用状況写真



